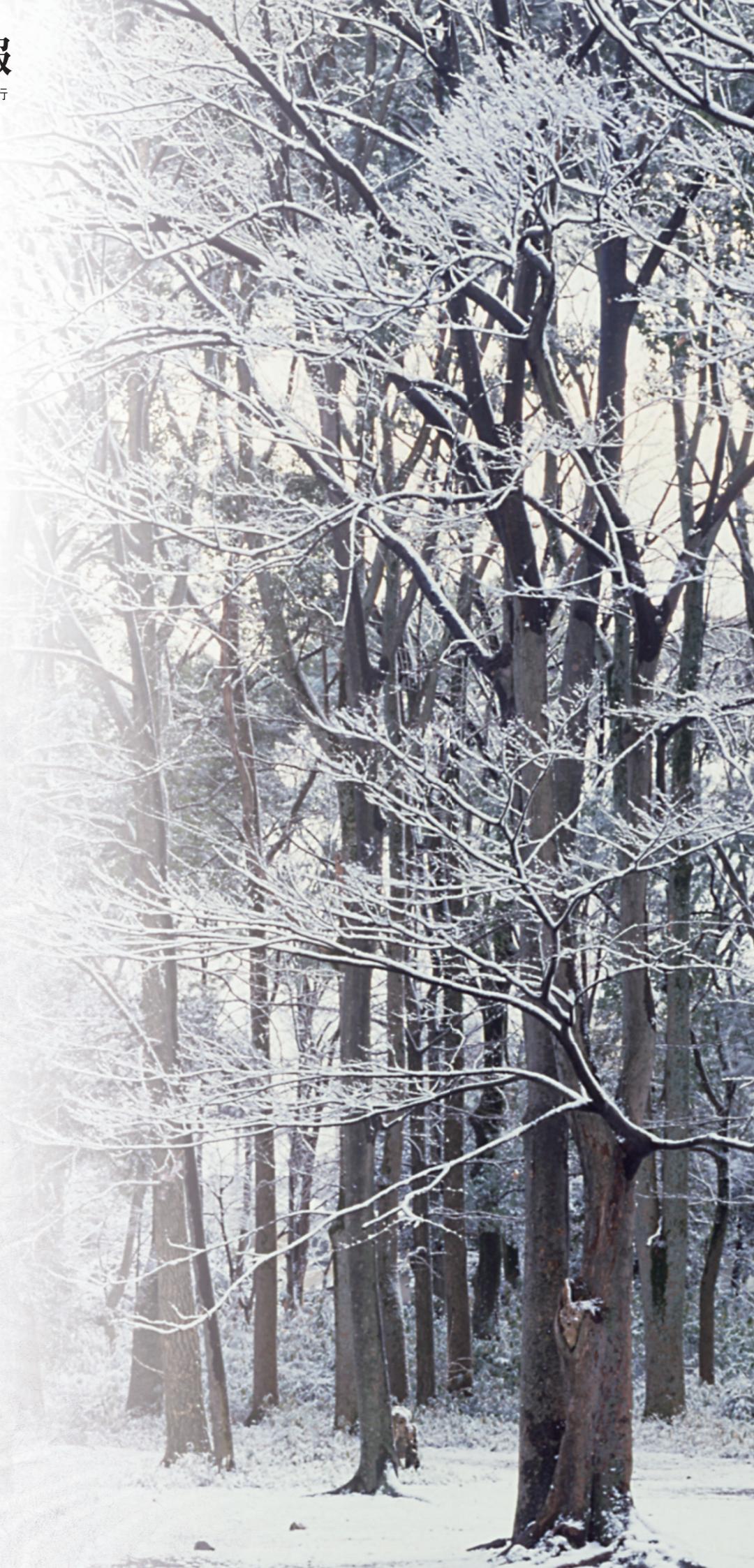


糺の森、



催事案内 遊び、学ぶ、糺の森のつどいあれこれ

“秋の”糺の森コンサート「音の森」

月日 10月13日(土)／11月10日(土)／12月8日(土)

時間 午後2時～3時(予定)※10月13日(土)のみ午前10時～

場所 河合神社(糺の森南側)拝殿

参加 無料(自由)



世界遺産糺の森 絵画コンクール

応募いただいた作品を現在審査
しています。

今後の予定は、下記の通りです。

展示 平成25年1月1日～5日
および1月の土日祝

会場 下鴨神社 研修道場



詳細はホームページをご覧ください。

糺の森財団 www.eonet.ne.jp/~tadasunomori-z

下鴨神社 www.shimogamo-jinja.or.jp

題字
新木直人宮司
賀茂御祖神社

編集・発行

公益財団法人

世界遺産賀茂御祖神社境内糺の森保存会事務局

〒606-0807 京都市左京区下鴨泉川町59 賀茂御祖神社内 ☎075-781-0010

www.eonet.ne.jp/~tadasunomori-z

行事日程	
● 平成24年下半期行事	10月9日 えと祈願祭(午後1時～)
	12月12日 お薬酒神事(午後1時半～)
● 平成25年上半年期行事	1月1日 歳旦祭(午前6時～)
	1月4日 蹤鞠初め(午後1時半～)
	1月12日 成人祭(午後1時半～)
	1月15日 初えど祭(午前11時～)
	2月3日 節分祭(午前10時～)
	3月3日 雛流し(午前10時半～)
● 平成25年	4月27日(月)正遷宮(午前10時～)
	4月28日(火)奉幣祭(午前10時～)
● 平成24年	10月3日(水)仮殿解除神事(午前10時～)
	3月20日(水)仮殿遷宮(午前10時～)
● 平成27年	3月8日(金)仮殿解除神事(午前10時～)
	4月27日(月)正遷宮(午前10時～)
第34回式年遷宮諸祭事日程	4月28日(火)奉幣祭(午前10時～)

『方丈記』800年記念特別展覧会

鴨長明『方丈記』と 賀茂御祖神社式年遷宮資料展

初公開の「長明直筆消息」や「鴨長明白画像」など
数々のご神宝を展示

同時開催

スタジオジブリが描く「定家と長明」展
美術ボードなど約300点の作品を展示

期間 10月1日(月)～12月16日(日)

時間 午前10時～午後4時

場所 賀茂御祖神社 入場料 共通券1,300円

ごあいさつ

糺の森財団

特別顧問 領木 新一郎

(株)大阪ガス 特別顧問)

糺の森財団が保護する「糺の森」は、京都市の中心部にありながら原生樹林を保つ学術的・歴史的に貴重な森林です。この森は都市の中において、貴重な在来種の遺伝資源の避難地として生物多様性の保全に大きく貢献しています。また、都市にある利便性から、環境学習の場としても重要な役割を担っています。

「糺の森」は下鴨神社の森ではありますが、多くの人の住まう立地とともに、生物多様性の保全や気象の緩和、大気の浄化、防風や防火などの環境保全的な役割を持つ森でもあります。近年、都市生態系の指標といわれる小型のフクロウ、アオバズクなども生育が確認されており、この森が多用な生物の生息する京都の貴重なビオトープになつていて証拠であります。

さらにこの森は、昭和58年、日本文化の原点として国の史跡に指定され、平成6年12月17日、「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約（世界遺産条約）」に基づきユネスコより、顕著な普遍的価値を有する文化財として『世界文化遺産』にも登録され、世界人類共通の宝物として未来永久に我が国が正しく次世代に伝えてゆく誇るべき文化財であります。

この貴重な森を保全し育成整備することは子々孫々まで続く長い年月のかかることです。糺の森にある多くの国宝・重要文化財の保存もまた同様のことと言えます。何卒、末永く皆様方のご支援ご協力を切にお願い申し上げます。



屋根裏といふ タイムカプセル

—建造物保存修理の現場から—

京都府教育府指導部文化財保護課 技師
村田 典彦

「屋根裏」と聞いてどのようなことを思い浮かべるでしょうか。この屋根と天井との間の空間は、普段は立ち入ることもありません。暗い・怖い・汚い、あるいはミステリアス・お宝が眠っている、といったイメージもあるでしょうか。現在実施中の保存修理事業のように、30年から40年に1度行われる檜皮屋根の葺き替えは、その屋根裏を観察する絶好の機会です。そこではいろいろな発見があり、屋根裏は魅力あふれる空間であることに気付きます。ここではその一端をご紹介します。

屋根裏で用いられるような普段隠れて見えない部材には、違うところの部材が転用されて用いられている場合がしばしばあります。細殿では、母屋と呼ばれる屋根を支える材料に「細殿東側縁葛北角より參」という墨書きが見つかり、これがかつては縁の床板を見つかります。

糺の森
ぶらりぶらり

第五回



檜皮葺屋根が連なる本社周り

まずは棟札です。棟札とは建立や修理の記録として屋根裏に取り付けた



細殿の大正修理棟札

平成21年度より実施している国庫補助事業「重要文化財賀茂御祖神社預り屋ほか19棟保存修理工事」の一環として、本年度は重要文化財「橋殿」の修理がおこなわれている。

「橋殿」は、楼門を入ってすぐ右に見える檜皮葺、入母屋造の建物で、現在のものは寛永6(1629)年に建造された。「橋殿」の名前が示すとおり、御手洗川の両岸



重要文化財 橋殿 修理工事 助成事業

糸の森 NEWS

発行所

世界遺産賀茂御祖神社境内

糸の森保存会事務局

www.eonet.ne.jp/~tadasunomori/

河合神社 防災工事

平成20年度から平成22年度までにおこなわれた国宝重要文化財の防災設備工事では対象とされなかった河合神社の防災工事が実施される。

河合神社の防犯設備の設置と既存防災設備の防災管理室へ接続され、神社境内の総合的な防災管理が達成される。総事業費は6,090,000円、施工は株式会社大同(京都市右京区)、株式会社日本電気商会(京都市山科区)。



名古屋での第4回目となる展覧会を、8月2日から7日まで名鉄百貨店本店10階で開催いたしました。今年の展示は夏目漱石の『京に着ける夕』の自筆原稿のほか、装束・屏風・古図など。約3,000名の来場者があり、盛況のうちに終りました。

大阪での初の開催となる展覧会は、8月29日から9月4日まで大丸百貨店心斎橋店北館14階イベントホールで開催いたしました。葵祭に使われる「牛車」・唐鞍・和鞍・蹴鞠装束・そして古図や資料など幅広い宝物を展示いたしました。約3,200名の来場者があり、大阪のみならず関西・中四国の方々に世界遺産下鴨神社の魅力をお届けすることができました。

「世界遺産京都下鴨神社展」名古屋と大阪で開催



言社で今回新たに格納した旧鬼板
将来にわたって保存する。



細殿の棟札発見状況
木箱の中に大正・昭和の修理の棟札2枚が納められていた。



新たに檜皮が葺かれ、屋根裏はまた何十年も暗闇に隠れる。



細殿の母屋 「細殿東側縁葛北角より參」の墨書きがある。

受ける材料であつたことがわかりました。また言社の1棟からは、やはり母屋に「四脚門野垂木」という墨書きが発見され、もとは別の部材であつたことがわかりました。

棟札や転用材の他にも屋根裏で発見されるものがあります。

細殿では大正時代に行われた解体修理の際に作成された、反った部材や曲がった部材を製材するための定規(原寸型板)が残されていました。将来の修理のときに参考にしてほしいという当時の技師の思いが伝わってきました。また前回の屋根葺き替え時(昭和48年)に檜皮職人が残した墨壺も発見されました。これには職人の名前と年齢が書かれており、記念に残したものだらうと考えられます。

しかし古い鬼板も貴重な歴史資料です。同じ建物の屋根裏に納め、将来にわたりて保存することとした。

普段は煤と埃が積もる真っ暗な空間で、容易に人目につくこともない屋根裏。しかしその中には各時代の足跡が眠っています。それが修理の一時期だけあらわになり、新たな檜皮が葺かれるとまた何十年も暗闇に隠れる。過去から現在、そして未来へと受け継がれる屋根裏の魅力は尽きることを知りません。



檜皮撤去前の状況(細殿)



檜皮撤去後の状況(細殿)



檜皮葺完了の状況(細殿)

事務局だより

会議報告 平成24年4月1日より9月30日まで

第4回理事会

月日:平成24年6月8日 場所:主たる事務所

出席:理事・監事

決議事項: ①平成24年度新規助成事業の件
②自平成24年4月1日

至平成25年3月31日補正予算の件
③自平成23年4月1日

至平成24年3月31日事業報告の件
④自平成23年4月1日

至平成24年3月31日決算の件
⑤定時評議員会招集の件

⑥顧問就任の件

報告事項: ①理事退任および選任の報告
②理事長および専務理事の職務執行の報告
③会員数の報告

第4回評議員会

月日:平成24年6月19日 場所:主たる事務所

出席:評議員

報告事項: ①評議員の辞任報告
②自平成23年4月1日

至平成24年3月31日事業報告について

決議事項: ①自平成23年4月1日
至平成24年3月31日決算について

東海本部役員会

月日:平成24年8月2日 場所:名鉄グランドホテル(名古屋)

出席:東海本部・京都本部役員

報告事項: ①糺の森環境整備・景観保全と
文化財修理事業に係る募金進捗の報告

審議事項: ①糺の森環境整備・景観保全と
文化財修理事業に係る東海募金の件

関西本部役員会

月日:平成24年8月29日 場所:ホテル日航大阪(大阪)

出席:関西本部・京都本部役員

報告事項: ①糺の森環境整備・景観保全と

文化財修理事業に係る募金進捗の報告

審議事項: ①糺の森環境整備・景観保全と
文化財修理事業に係る関西本部募金活動の件

会員数報告(平成24年9月10日現在)

賛助会員 52件

団体・法人会員 30件

個人会員 1,175名

合計 1,257件

役員異動報告

理事退任(5月11日付)

川上 貢 氏

新任理事(5月21日付)

高橋 康夫 氏(京都大学 名誉教授)

日向 進 氏(京都美術工芸大学 教授)

松谷 茂 氏(京都府立大学 客員教授)

評議員退任(6月10日付)

松宮 正明 氏

新入会員ご誘致のお願い

多くの方に世界遺産糺の森の保存にご理解ご協力をいただきたく願っております。新入会員のご誘致をよろしくお願いたします。同封の「入会案内パンフレット」をご利用ください。

ご寄附のお願い

平成23年度も多くのご寄附をいただき、糺の森の整備・神社建造物の修復を実施することができました。ありがとうございました。平成24年度も引き続きご寄附をよろしくお願いたします。同封の振込用紙をご利用ください。

第6号 平成24年10月1日発行



第22回糺の森市民植樹祭

4月29日(日)の昭和の日に「糺の森市民植樹祭」を開催。本年も29本(モミジ12本・ケヤキ5本・カツラ7本・ムク3本・エノキ2本)という多くの献木をいただき、糺の森後継樹の苗木500本と共に

植樹を行いました。また今年は糺の森財団設立30周年、記念として表参道の紅葉橋の東側にモミジを植樹しました。

千理事長様、山田京都府知事様はじめ多くの皆様に式典でのご挨拶またご祝辞をいただきましたことを心よりお礼申し上げます。

本年も、藤田造園様より苗木500本をご寄贈いただき、また林屋電気商様・藤田造園様には設営等にご支援ご協力をいただきました。感謝申し上げます。

成木献木者

朝倉 慶様 岡上 武様 片山寿広様 京都葵ライオンズクラブ様 好田昭子様

(株)伊藤園様 岡野恵俊様 木村喜子様(2本) 近藤眞理子様

浦岡 弘様 笠松規子様 倉西登代様 多賀好美様

五十音順

第22回螢火の茶会と糺の森納涼市

恒例の「螢火の茶会」を今年も6月9日(土)に開催いたしました。約4,500名

の観光客が訪れ、境内での筝曲の演奏や雅楽舞、そして御手洗池での約400匹の蛍の舞いを楽しめました。また夕方5時からのお茶席には財団会員や招待客

約860名の方が出席されました。

同時に櫻門前表参道にて開催された

「糺の森納涼市」は、京の有名老舗など18

店の出店があり、多くの買い物客で賑わっていました。

今年も多くの皆様にご奉仕ご協力をいたしました。感謝申し上げます。

〈お茶席・点心席奉納〉
裏千家前家元 千玄室様

淡交会会京都北支部様

〈点心席奉仕〉
本家尾張屋様

〈筝曲奉仕〉
錦綾子社中様

〈十二单衣の着付と王朝舞〉
下鴨古樂会様

〈ご協力〉(敬称略・五十音順)
(岸野電氣、松風園、鈴木建設、西村管工、
(株)林屋電氣商会、(株)藤田造園、
(株)ワコールホールディングス)



3年目を迎えた今年はより広いジャンルの音楽を楽しんでいただこうと企画をしていきます。4月は2006年結成の「ドレクスキップ」を迎えて北欧音楽のコンサート、5月は弦楽とソプラノ歌手で春の歌コンサート、そして6月は「音の森」の為に結成された「カルテット水無月」によるレトロモダン弦楽の調べを開催いたしました。秋のコンサートを是非ご期待ください。



「歴史から学ぶ日本の心 —細川家 美と戦いの七百年—開催

世界遺産糺の森文化講演会

平成24年8月11日(土) 下鴨神社參集殿

講師

細川護熙氏

細川家に保存されている記録を基に歴史の一侧面をご講義いただいた。

日本歴史・文化そして自然を、京都市民のみならず広く全国の方々にお知らせするための広報活動として実施している「糺の森文化講演会」。

8月11日(土)下鴨神社參集殿において、下鴨神社秀穂会と共同で開催致しました。財團設立30周年にあたる今年は、特別講師として、第79代内閣総理大臣であり、細川家当主の細川護熙氏を迎えました。入場者は会場の都合で先着150名となりましたが、早々に満席になり、お断りせざるをえなくなりました。お詫びいたします。

さて当日は、細川家の700年にわたる歴史と、そこから見える日本の歴史の裏話。そして文化とそれを記録することの重要性を1時間半にわたり講演いただきました。企画・運営にあたりましては、下鴨神社の職員や下鴨神社青年会の方々にご協力いただきました。御礼申し上げます。

講演は以下のようない内容でした。

細川家に保存されている記録を基に歴史の一侧面をご講義いただいた。

特に、細川幽斎公は足利十三代将軍・義晴から徳川家康まで六代の政権に仕え、細川家中興の祖と仰がれる名君で知られるが、その幽斎の幾多の逸話や資料から徹底した情報戦略を駆使して中庸を保ち、戦乱の世を生き抜いた。

また、幽斎の孫、忠利公は、徳川三代將軍・家光の乳母に春日局を斡旋した縁で初期江戸幕府の重要な人事情報を得、熊本の父・忠興公と四五〇〇通にも上る書簡のやりとりで情報分析の上の的確な対応を行ったことで細川家の地位を盤石のものとした。

五代綱利公の世に起こった「赤穂浪士討ち入り」では大石内蔵助以下浪士を殲かり、その後の浪士の様子や発言を克明に記録に留めたことで、事実に裏打ちされた「忠臣蔵」の興味深い側面をご紹介いただいた。

他に忠興の妻・細川ガラシャの逸話や情報収集のための修験者とのつながりなどの話題を交えながら、情報収集とその分析の重要性をお話いただいた。

糺の森コンサート

世界遺産糺の森文化講演会

平成24年8月11日(土) 下鴨神社參集殿

講師

細川護熙氏

3年目を迎えた今年はより広いジャンルの音楽を楽しんでいただこうと企画をしていきます。4月は2006年結成の「ドレクスキップ」を迎えて北欧音楽のコンサート、5月は弦楽とソプラノ歌手で春の歌コンサート、そして6月は「音の森」の為に結成された「カルテット水無月」によるレトロモダン弦楽の調べを開催いたしました。秋のコンサートを是非ご期待ください。